



学校だより 特別号



さわやか

令和7年9月11日
かほく市立河北台中学校



学校経営目標 「自ら学び、共に高め合い、発信する学校」

4月に実施しました市の学力調査（1，2年生）、県・全国学力調査（3年生）の結果が公表され、前期学校評価の集計ができました。本校の結果と分析・改善策の概要についてお知らせします。

1 前期学校評価より（生活や学習に取り組む姿勢等の問いからの抜粋）

①生徒アンケート：過去の前期との比較

肯定的な回答の割合（数値は%）

質問項目		R6	R7	
学校生活	学校へ行くのは楽しい	1年	88	93
		2年	95	82
		3年	86	94
		全	89	89
	物事に最後まで粘り強く取り組んでいる	1年	83	90
		2年	95	82
		3年	89	94
		全	89	88
	いじめはどんな理由があってもいけない	1年	98	100
		2年	96	96
		3年	98	96
		全	97	98
授業・学習	授業は分かりやすい	1年	92	92
		2年	95	92
		3年	90	95
		全	92	93
	授業では課題解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいる	1年	82	86
		2年	93	83
		3年	85	96
		全	86	88
	友達や先生の話、分かってほしいと聞いている	1年	97	97
		2年	99	94
		3年	95	100
		全	97	97
家庭生活	自分で計画を立てて勉強している	1年	64	75
		2年	70	66
		3年	68	86
		全	67	75
	平日の勉強時間が1時間以上	1年	47	76
		2年	81	58
		3年	62	89
		全	63	73
	平日のメールやネット等の時間が2時間以上	1年	64	66
		2年	70	68
		3年	68	65
		全	67	66
自尊意識面	自分には良いところがあると思う	1年	65	79
		2年	88	69
		3年	80	87
		全	77	78
	将来の夢や目標を持っている	1年	72	85
		2年	72	77
		3年	65	84
		全	69	82

②生徒アンケート：保護者と生徒との比較 肯定的な回答の割合 () は昨年度の前期との差

対象	質問項目	生徒	保護者
生徒・保護者	学校へ行くのが楽しい	89%(±0)	81%(-5)
生徒・保護者	自分で計画を立てて勉強している	75%(+8)	62%(-2)
生徒・保護者	朝食を毎日食べている	94%(+2)	95%(+4)
生徒・保護者	将来の夢や目標を持っている	82%(+13)	60%(±0)
生徒・保護者	平日、家庭学習の時間が1時間以上である	73%(+10)	58%(+5)
生徒・保護者	休日、家庭学習の時間が2時間以上である	52%(+11)	32%(+3)
生徒・保護者	平日、メール、インターネット等の時間が1時間以上である	91%(+5)	85%(+3)
生徒・保護者	休日、メール、インターネット等の時間が2時間以上である	66%(-1)	77%(-3)
保護者	お子様と学校の出来事について話をしている	/	81%(-2)
保護者	学校は、お子様をよく理解し、指導している	/	76%(-3)
保護者	学校からの便りやホームページで学校の指導方針や子ども達の様子などがわかりやすく伝わってくる	/	87%(-3)
保護者	いじめ防止の取り組みが伝わってくる	/	63%(-1)

※(/) は実施していない項目です。

*「学校へ行くのが楽しい」と感じている生徒は約9割である。

*自分で計画を立てて勉強している生徒は75%で昨年度より8%増加した。

*平日に1時間以上、休日に2時間以上家庭学習をしている生徒は昨年度と比べて10%増加した。

*平日に1時間以上、休日に2時間以上メール、インターネット等を使用している生徒が約9割で、昨年度より3～5%増えた。

2 学力調査結果より

4月16日(水)に石川県基礎学力調査(社会・英語)、4月17日(火)に全国学力・学習状況調査(国語・数学・理科)が、3年生を対象にそれぞれ実施されました。また、かほく市では4月に1、2年生を対象とした学力調査が行われました。調査の目的は、生徒の学力や学習状況を把握・分析し、各教科における課題や生活状況の実態などを明らかにすることにより、今後の指導内容や指導方法の改善、生活指導等に役立てることです。

今回、本校の分析結果がまとまりましたので、その概要を保護者・地域の皆様にお知らせします。なお、各学力調査により測定できるのは学力の特定の部分であり、また学校における教育活動の一側面であることをご理解くださいますようお願いいたします。

※3年生は、全国学力・学習状況調査〔国語・数学・理科〕と石川県基礎学力調査〔3年：社会・英語〕

※1・2年生は、かほく市実施の学力調査

下記の表の中の印(◎○□△▲)は本校の平均正答率を、国や県の平均正答率と比較したものです。

比較対象より ◎：5%以上高い ○：2～5%高い □：ほぼ同じ △：2～5%低い ▲：5%以上低い

		国語	数学	社会	理科	英語
1年	国との比較	○	◎	◎	○	○
2年	国との比較	□	◎	◎	□	□
3年	国との比較	◎	◎	/		◎
	県との比較	○	◎			○

- ・1年生は全教科において国を大きく上回っている。
- ・2年生は数学、社会は国を大きく上回っているが、国語、理科、英語が国と同程度である。
- ・3年生は国語・数学・理科は国を上回っている。県との比較では、国語・数学・理科・英語は上回っているが社会は同程度である。
- ・各教科を分析すると、正答率の高い設問が多くある一方で、学習の定着が不十分な内容・領域が見られる。

3 今後に向けて

学校と家庭の連携で学力向上

基本的な生活習慣はどの学年においても良好な状況です。また毎日の授業では、落ち着いた態度で学習に臨み、学校行事や委員会活動など一人一人が役割を持って頑張っている姿が見られています。

そのような中、学校評価で十分ではない部分については謙虚に受け止め、これまでの取組を見直し、今後は以下に示したことをはじめとして改善に努めていきたいと考えています。

■学校での取組

本校の校訓「常に正しく」のように自分で考え、正しく判断して行動できる生徒の育成を目指しています。

① 学習面

- ・授業では、主体的・対話的で深い学びや個別最適な学びの視点から「見通しが持てる授業」「教え合い、学び合う授業」「活動のある授業」「まとめや振り返りのある授業」をさらに意識して推進します。生徒の自己有用感や自己肯定感を向上させられるように、日々の授業実践や授業改善に心がけ、わかる授業となるように努めていきます。
- ・ICT機器の活用、外部人材の活用については、今後も効果的な指導につながるように工夫していきます。
- ・家庭学習については、与えられた課題をこなすだけでなく、自ら学習計画を立てるなど主体的に学ぶ力の育成に取り組んでいきます。

② 生活面

- ・学習の土台となる「安心して話し合いができる学級づくり」を継続して進めていきます。
- ・生徒の活動を前面に出し、成功や失敗にこだわらず「認める、褒める、励ます」など生徒指導の充実を図る取組を推進してきます。
- ・「さわやかカード」の活用、様々な活動を通して「自己肯定感」「自己有用感」を高めていきます。
- ・日頃の生徒との関わりをより一層深め、学年職員による定期個人相談等を継続し、信頼関係の更なる構築を目指していきます。
- ・家庭学習時間を確保するための時間の使い方の指導や「早寝・早起き・朝ご飯」などのより良い生活習慣を確立するための指導を継続していきます。

■家庭へのお願い

- ①スマホやゲーム等の使用状況を確認する。 ②ネットの時間を決める。（お子さんと一緒に）

★ゲームが生活のなかで中心となってしまう生徒もいるように感じられます。ささいなことでもかっとなる、乱暴な言動につながる要因となるゲームも存在するようです。中学生の多感な時期にふさわしいものかをご家庭でご確認してください。

★「将来の夢や目標としていること」や「SNSなどのネット使用について」など、家族で話す機会をぜひ設けてほしいと思います。

4 いじめ未然防止のために取り組んでいること

いじめは、「どの子供にも、どの学校でも、起こりうる」ものであることを十分認識して「いじめは人間として絶対に許されない」という意識を、学校教育全体を通じて、生徒一人一人に対して徹底し、未然防止、早期発見に努めています。保護者からの情報も大切なものの一つです。今後とも協力をよろしくお願いいたします。

■主な取組

①毎月の「学校生活サポートアンケート」の実施

タブレット端末を用いて実施しています。周りを気にせず回答できるようタブレット端末を自宅に持ち帰って生徒は回答しています。「仲間はずれにされている、からかわれているなどと感じることはありますか」などのアンケートを行う中で、いじめられていないかどうかの情報を得ています。結果に応じて、本人から聞き取りを行い、事実の確認をしながら指導を進めています。

②教育相談の機会

担任や学年職員と生徒との個別相談の機会を定期的に設け、その中から情報を得ています。

③ 日頃の様子を観察

朝の登校の様子や休み時間での巡回など、授業中以外の生徒の様子を見ながら情報を得ています。

④ 道徳教育の充実

人を思いやる心、命を大切にすることなど、豊かな心の育成に努めています。

⑤ 全校集会などの講話

生活指導担当や外部講師などから、いじめを許さないことについて講話等を行っています。

■いじめの情報を得たあとの対応

- ・事実確認を行い、内容に応じて謝罪などの指導を行っています。保護者へも事の経緯を説明しています。
- ・必要に応じて、心のケアとして、スクールカウンセラーや教育相談員との面談を行っています。場合によっては教育委員会等の関係機関と連携を取りながら進めていきます。
- ・事が起きた後、少なくとも3ヶ月は関係生徒の様子を観察等を行い、必要に応じて指導していきます。
- ・いじめの事案に関しては要因が複雑に絡んでいる事例もありますが、その場面に応じて適切かつ組織的に対応、指導を適宜行っています。
- ・内容に応じては、県派遣職員の生徒指導サポーター（元警察勤務）に、関係機関との連携等について助言を受けて対応しています。※本校ホームページ「令和7年度版いじめ防止基本方針」参照してください。

保護者の皆様、アンケートのご協力ありがとうございました。また、貴重なご意見等ありがとうございました。（いただいたご意見のなかで、学校外に関する内容のものは関係機関にお伝えしております。）

学校では学校評価の結果を踏まえ、それぞれの課題を改善しながら、より良い河北台中学校にしていきたいと考えています。今後も、河北台中学校が、地域にとってもより良い学校となるよう皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。なお、中間報告を10月中にホームページ上で公開しますので、併せてご覧ください。